



守谷町

# 議会だより

第14号

昭和五十四年八月一日発行  
発行 守谷町議会  
編集 守谷町議会事務局

六月九日、立沢ママさんソフトボールチームと議員野球チームとの親善ソフトボール試合が行われました。日ごろ、身体を動かす機会の少ない議員も、この日は、ママさんと一緒に汗を流していました。成績は、八対七で立沢ママさんチームが勝ちました。

## 守谷町議会 第2回定例会

6月5日～9日

### 補正予算 条例改正 十案件可決

◆報告第一号 専決処分事項の承認について

土塔踏切前の守谷町公共下水道管工事により、既設水道配水本管が障害になりましたので、敷設替

工事をしたもので、議会招集が困難のため専決処分したものです。

◆報告第二号 昭和五十三年事業年度守谷町土地開発公社決算等について

◆報告第三号 昭和五十四事業年度守谷町土地開発公社事業計画等について

報告第二号は、土地開発公社の決算で、守谷町からの依頼により公共用地代替地を含め一万六千九百三十八平方メートル、金額にして一億四千九百三十八万五千円を買収いたしました。

報告第三号については、五十四事業年度の事業計画です。

◆議案第一号 守谷町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第二号 教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第三号 守谷町消防団条例の一部を改正する条例について

議案第一号、二号、三号は、報酬、特別職の給与など近隣市町村との均衡を失しないよう特別職報酬

等審議会に昭和五十四年五月二十三日諮問し、五月二十四日付をもってその答申を得、その答申を尊重し改定するものです。

◆議案第四号 守谷町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

消防団員等公務災害補償等共済基金法施行令の一部改正に基づき本条例の一部を改正するものであります。

◆議案第五号 昭和五十四年度守谷町一般会計補正予算(第一号)について

今回の補正総額は、歳入歳出五千九百一十一万円の増額補正であります。

歳入歳出の主な内容は、歳入では分担金及び負担金の郷州戸頭線踏切改良工事負担金で、全額三井不動産が負担するものです。財産収入では、守谷小学校で使用していたプレハブ教室が黒内小学校開校により不要になったため、またこのプレハブ教室は老朽化してい

改正された報酬

|     |          |
|-----|----------|
| 町長  | 523,000円 |
| 助役  | 424,000円 |
| 収入役 | 396,000円 |
| 教育長 | 374,000円 |
| 議長  | 210,000円 |
| 副議長 | 185,000円 |
| 議員  | 170,000円 |

るため移築して使用することができないため売却するものです。

歳出の主なものは、報酬の改訂による増額一千三百八十四万円と庁舎の一部の冷房施設工事費二百三十七万円、また、歳入に伴う郷州戸頭線踏切改良工事費の関鉄への委託料二千三百万円、教育費では、学級増による備品購入費及び中学校の第二理科室(プレハブ)の増築工事等です。

◆議案第六号 昭和五十四年度守谷町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)について

補正総額一百万円の増額補正で歳入で、分担金及び負担金で日本住宅公団より工事のため借地料七十五万円、財産収入で、処理場用地貸付収入二十五万円の補正です。歳出では、報酬改訂に伴う増額六万円、工事用借地料七十三万円です。

◆議案第七号 昭和五十四年度守谷町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について

今回の補正は、国保運営協議会委員報酬引上げによるものです。

◆議案第八号 昭和五十四年度守谷町水道事業会計補正予算(第二号)について

水道事業運営協議会委員報酬の改正による支出の増です。

◆議案第九号 茨城県市町村総合事務組合規約の変更について

今回の規約改正は、土浦市の非常勤職員の公務上又は、通勤による災害に対する補償事務を、茨城県市町村総合事務組合において共同処理することとなったためのものであります。

6月5日～9日

## 第二回定例会一般質問

# クリーンな守谷町に

7名登壇

松丸議員 井戸枯れ問題と町水道事業について次の点で伺いたい。

①常磐高速道、あるいは異常天候による水枯れなど、井戸水不足の状態をどのように考えているか。  
②守谷地区、川西地区以外の水道施設計画について、現在どう考えているか。  
③地下水の大口利用者が入って来た場合、農業用水との関連を考えた場合、農用水との関係を考えてどう対処していくのか。

町長 ①の井戸水の枯れについて、従来とも心配している。自然水の水位の低下がさがわがれている現在、利根川の表流水を利用すべく、すでに事業に入っている、水不足で住民に心配をかけないようにしたい。

水道課長 ②については、昭和五十三年度から五十六年度までの四ヶ年計画で、給水人口二万人で進めている。その後は、五十四年度から六十二年度に向って、県と町とで行う県南広域水道で表流水の確保を考えている。六十二年度までは、未給水地区と住宅公団等の給水をしたと考えている。

③の問題については、地下水の規制を県の水資源対策課と水道計画課が行っているので、県の指導

を受けるよう指導している。

### 私道整備の問題点

下村議員 町内の私道の整備は、現在、私道整備要綱に基づき受益者二分の一負担で行っているようだが、本来、道路は無税という原則から、一方で固定資産税を納め、なお二分の一の負担をするというのは不合理な点があり、考え直す必要があるのではないかと。

建設課長 現在、利用度の高い私道、幅員四メートル以上で五世帯以上の住宅がある場合は、町の責任で整備している。利用度の少ない私道においては、二分の一の負担を願っている。私道も宅地扱いになっているので税徴収はやむを得ないと思う。しかし、実情にそぐわない点もあるので検討してみたい。

下村議員 子供達が抵抗なく遊びの相手として使えるのは、土と水ということからドロコ保育が行われている。遊び終わったあと子供からだをきれいにしなければならぬが、現在、そういう施設が保育所がない。衛生面からいって、シャワー程度の施設をつける考え



泥と遊ぶ子供達

はないか。  
保育所長 現在、各保育所でドロコ保育を行っている。子供の衛生ということ、これから検討したい。

町長 ドロコ遊びは、大いに保育の場で取り上げてもらいたい。その後しまつとしてのシャワー等の問題については、早急に処置したいと思う。

浅野議員 次の三点を要望したい。  
①常総広域組合について、守谷町にゴミ処理場、運動公園等の施設があるにもかかわらず広域の管理者、職員など他町村が大半である。守谷町の意見が強く取り入れられ

るよう管理体制の再検討を要請してもらいたい。

②大型店の進出、下水道工事に伴う交通規制などにより町の商店は商売に支障をきたすと思う。そのようなことのないよう町の商工会に対する指導、助成をしてもらいたい。

③予算の消化率と職員数をくらべてみると、一九八一年で八十億の予算を消化している。他町村と比較した場合、一人当りの事務量がかなり多くなっている。職員の増員、もしくは給与の増額をはかつてスムーズな事務処理が出来るよう配慮願いたい。

石山議員 町長は施政方針において対話と参加の行政を謳っているが、三ヶ月もたたないうちに住民から不満の声が出ている。施政方針の内容等については的確に指導しているのか、また、職員の指導はどういうふうに行っているのか。

町長 明るい住みよい町づくりということで、住民との話し合いを多くもって要望、御期待にそうよう努力しているつもりである。職員の指導については、町民の皆さんに不自由をかけないよう、親切に答えるよう指導している。

### ビニール等の分別収集

石山議員 環境センターの公害を少なくしようということで、四月一日からゴミの分別収集が行われているようだが、守谷町のゴミは検査しているが他町村の検査はまったく行われていないと聞く、ゴミ収集の状況と経過についてお尋

ねしたい。

厚生課長 ゴミの分別収集の徹底が行きとどいていないので、広域の関係市町村の課長会議の際、あるいは、管理者会議などでも徹底する旨、要望した。七月一日からは分別されないゴミは搬入を許可しないということで強力に進めるとのことである。

石山議員 現在、守谷町はいろいろな公共事業を行うために工事関係者が多く入って来ている。町はそれらの人に対する指導を行っているか。また、下水道工事においては、交通事故が多発しているの、それらの対策はどうか。

総務課長 人家の少ない所、治安上危険な所には防犯灯など町単独でつけている。今後、業者とも協議し、指導なり、防犯灯の設置等を進めて行きたい。

都市計画課長 交通事故の直接の原因は工事のためではないが、工事中そういうことのないように現地の立合指導というように形で厳重な注意をし、毎日一〜二回は職員が見回っている。

金杉議員 施政方針の中では学校建設、あるいは、幼児保育などが国際児童年についてどう考え、行い上げられているが、守谷町では、事をしようとしているか。

町長 国際的な児童の福祉、その他の問題に広く感心を持っていただくというところで、国、県あたりでいろいろ計画している。町では、茨城県青少年会館の建設という、こ



狭あいになった調理室(給食センター)

住民課長 町において国際児童年に対する行事については、特別に考えてはいない。

金杉議員 将来、児童数の増、米の消費拡大が見込まれる中において、現在の給食センターでは限界があると思う。今後、どういう方針で運営して行くのか。また、ある所では、各学校単位で給食を行っている町もあると聞くが、守谷町でも取り入れてはどうか。

給食センター所長 現在、守谷町では週二回の米飯給食を実施している。また、守谷の給食センターは二〇〇〇食を前提として建てられており、将来は第二給食センターを建設しなければならないと思う。取りあえず本年建て増しをする。

町長 給食は、共同、単独ということがあがるが、どちらが経費を削減出来るかまだ研究の余地があると思う。現在の段階では一ヶ所集中調理で間に合うと考えている。

金杉議員 ゴミの分別収集が行われているが、住民の間からは、公害となるゴミの収集日が月、二回

では少ないとの声が出ている。収集日の再検討をする必要があると思うがどうか。

**厚生課長** 毎週一回集めることは出来ないわけではないが、全体の収集日の編成替をしなければならぬ。そうすると住民の方で混乱する危険性が出て来ると思われるので、当分の間、月二回で行いたい。

**町長** ゴミ収集は町の責任で行わなければならない。月二回が適当かどうかはもう少し検討したい。

**金杉議員** 上水道事業の水道工事指定店について、南北公団などこれから水道工事が一時的に多くなり、業者を増やさなければ対応出来ないと思う、そこで仮の指定工事店をつくって、水道事業に対応し、それらの工事が終わったら指定をはずす方式をとってはどうか。

**町長** 町の水道工事をスムーズに欠陥なくやっていただくには、指定店制度を用いた方がよいと思う。

また、南北団地等における工事の増大ということで、仮の指定店をつくってはということだが、一度指定にしてしまうと取り消すということが困難になってしまうので仮の指定店を置く考えはない。現在の指定店の数で間に合うと思う。

**金杉議員** ①常備消防と非常備消防の位置づけ。

②非常備消防団員の災害時、出動の報酬が常備消防より仕事が多いにもかかわらず少ないがこの点についてどう思うか。

**総務課長** ①広域消防は、消火活動、救急業務等、五十二年から活

動している。非常備消防については、消火活動はもちろん、水防等災害の面の活動も含まれ、従来どおり活動している。

**町長** ②消防団員の活動にむくいるよう報酬を支払って行きたいと考える。都市化されつつある守谷でも、これからは、バランスのとれた報酬体系にして行きたい。

## 高校用地の取得は

**金杉議員** 高校を建てる場合、用地費として県の負担金が出るようになったので、公団内にある土地を高校用地として決定し、早急に予算措置しなければならないのか。

**町長** 公団の中には、高校の予定地があるが、公団の高い土地より町内にある比較的安い土地を求めようという検討中である。早急に土地を求め、高等学校建設を実現したい。

**金杉議員** 五十年に保育料が値上げされ、今年、また値上げされるということ、この値上げがどういう手続きのもとで行われるのか。また、当初予算に上っていないのはなぜか。

**保育所長** 保育料値上げについては、諸物価の高騰というようなことで、さらに、保育者最低基準以外に保育衛生、栄養など考慮しなければならぬため、今回の値上げとなった。値上率は、全体で四五〇万程度で、予算面については、決定していなかったのが当初に計上出来なかった。

**岡田議員** 大新東、上裏開発につ

いて、その後の経過を伺いたい。

①土地利用転換計画における位置づけ。

②宅地開発指導要綱による開発負担金の支払い状況。

③工事延期願受理後の町の指導はどうか。

**企画財政課長** ①大都市地域において、民間開発業者により、大規模な開発が予想される地域を適切に誘導し、必要な宅地の供給をはかる土地利用転換計画にのせて大新東も開発を進めてもらうようにしたいと考える。

**都市計画課長** ②総額、一七二〇万で、五十二年に一〇〇万、五十二年九月から一〇〇万ずつ納入するという念書に基づき、現在までに一三〇〇万円納入されている。

下水道負担金については、今後、会社との協議のうえ決定したい。

③大新東では、セキスイハウスという会社と共同施工というようなもの、を計画中で、施工時期は、五十四年度を目標に着手したいということである。



守谷にも高等学校を（写真は藤代高校）

**岡田議員** 南北両団地、郷州開発など大規模開発に伴って町の財政収支の報告があり、その後、下水道の工事の変更というようなことが出て来て南北両団地、郷州開発の変更、見直しの時期に来ていると思うがどうか。

**企画財政課長** 財政収支も試算はされているが、全体計画が遅れているので、当然、見直しをしなければならないと思っている。試算で公共、公益事業は、総額二九八億円程度になり、その九九パーセントは公団が先行して行うことになっている。

**岡田議員** 常総線の復線化の進捗状況と、常総線復線化促進期成同盟会総会の模様について伺いたい。

**町長** 常総線の復線化については、前々から切望しているところであるが、先般、期成同盟会の総会があり、関鉄の方と話し合いをし、早期に実現するよう要望した。しかし、膨大な費用がかかるので、色々な面から援助を願いたいとの回答であった。

## 消費者リーダー

### 養成講座

**岡田議員** 消費者リーダー養成講座のその後の経過と、県消費者生活センター分室を使用させてもらう時の手続などを伺いたい。

**産業経済課長** 消費問題などを中心として開かれる講習会で、守谷からは、今年も三名が出席している。この人達を中心となり、守谷町消費者の会というものをつくり消費行政について研究している。

消費者生活センター取手分室に



取手市にある県消費者生活センター分室

については、消費問題の相談、各種の講座、簡易な商品テストなどが行われている。利用方法は、広報などで知らせたい。

**岡田議員** 先般、開催された町内会長、部落長会議で、十年間以上勤続者を表彰し、記念品をやったかどうかという質問が出て検討するということだったが、その後どうなったか。

**町長** 表彰の件については、現在検討中である。感謝状とか、皆さんに喜んでいただけるような方向で何かの機会に催したいと考えている。

**瀬尾議員** 三月の定例会の時に海老原町、旭町から出された請願について、交通安全上、また黒内小学校が出来たための通学路としての歩道橋は、ぜひ必要だと思いがその後どうなっているか。

**町長** 歩道橋は必要であり、町としては、県に対し歩道橋、側道の件については要望している。しかし、二九四号線が拡張されるとい

うので、それと合せて設置したいと考える。

**瀬尾議員** 現在、利根左岸にある地内水路は、取手市から高野、浅間神社下まで掘削されている。しかし、高野改良区の昔からの排水路がまだ行われていない。これから雨期に入るので早急に着手してもらいたいと思うがどうか。

**助役** 地内水路の着工については、現在、戸頭の方から整備して来ている。守谷地区においては、五十三年度設計し、用買に入ったが県外地主が多いため難行をしている。実施時期を早急に要望し、その間何らかの方法で冠水をさけるようにしたい。

## 防犯施設の再点検

**瀬尾議員** 防犯施設、特に防犯灯とカーブミラーが町内に多くあるが、その機能が發揮されてないように思う。早急に点検、修理の必要があるのではないか。

**総務課長** 現在、住民の意見によって防犯灯など直して来た。今後防犯連絡協議会、交通指導隊等の組織と連携し、機能の回復をさせるよう点検、修理を実施したい。



防犯灯はあるが……

# 原地内の側溝について協議

## 建設委員会から

守谷町議会には、現在、四つの常任委員会があり、各所管の委員会で活動しています。その活動の状況をお知らせするため、これから四回にわけて皆さんに御報告いたします。

建設委員会は、委員長柿沼武男副委員長大久保輝夫、委員飯塚操石山新次郎、瀬尾高四郎、奈幡要の六人で構成され、建設課及び都市計画課に関する事項の調査及び議案、請願陳情等の審査を行います。

去る六月二十八日、原町内会一同と、側溝設置について協議会を開きました。

原地内は、主要道路を除いては

ほとんどが私道で、戸数も一六九戸にもおよんでいます。しかし、付近一帯には雨水の排水溝がないために、道路や空地が水溜りとなり児童の通学や交通の支障となると同時に衛生面からも、カやハエの発生源ともなるので、ぜひとも側溝を設置してもらいたいという請願があり、この請願を議会で採択したため、執行部と合同の協議会を開いたものです。

守谷町私道整備要綱では、所有者の承諾を得て砂、碎石により整備をし、町道に偏入後、舗装整備をすることになっているため、所有者の承諾書の取りまとめが協議の中心になりました。

地区内には、不在地主が相当数いるため、この町道偏入の承諾書を地元住民が協力して取りまとめ作業を進めることで協議会の一致した意見とし、承諾書がまとまった段階で再度検討するというこ

# 汚水処理場を視察(山形市)

六月十一日、十三日

首都圏のベッタタウンとして急速に変化しつつある守谷町、その町づくりの一環として、家庭雑排水や汚水の処理をすべく、下水道の整備を昭和七十年を目標として五十年から事業を進めていはず。

## 山形市は

蔵王山を水源とする馬見ヶ崎川の扇状地のうえに、ほぼ三角形に形成されており、市街地の西縁から肥沃な水田地帯が開けている所です。

また、従来から慢性的な水不足に悩まされて来た土地でもありません。

## 事業の経過

昭和三十四年から都市計画課に下水道係を設け、三十六年に事業認可を受け、下水道管渠埋設と処理場の建設に着工、四十年から簡

とで閉会いたしました。このように、建設委員会では、本会議中に行われる委員会のほか閉会中に行う協議会においても住民の要望に答えんべく活動を行っております。



説明を受ける議員(汚水処理場)

で、汚水の処理方法は、処理水がかんがい用水として再利用することや、水域の水質保全のため高級処理することとし、活性汚泥法、(ステップエアレーション方式)という微生物を繁殖させて処理する方法を採用している。

このように、我が守谷町の公共下水道をより良く、より公害の少ないものにするため議会、執行部とも最善の努力をし、研究、検討を重ねています。

# 灰は固化して埋め立てに

汚水処理場の視察と同時に、山形市の半郷にある清掃工場の視察も行いました。

この工場は、守谷町にある広域のゴミ処理場とほぼ同じでありますが、臭気が外部にもれないような施設を設け、煙を洗浄する装置(マルチサイクロン、電気集じん器など)で集められた重金属類を含む灰をセメントとまぜ合せ、コンクリートブロックにして埋め立て用としているのが特徴です。

守谷町において問題になっているカドミウムについて質問が出ましたが、この清掃工場では、カドミウムは出ていることは確かだが、微量である。また、住民から苦情の出るようなことはないとのことである。灰の中の重金属類の方に気をつけているという答えでした。

## 処理方式は

雨水と汚水を別にした分流式



伝達式の様子

# 県議長会より

三氏表彰

去る六月十五日、茨城県町村議会議長会総会において、自治功労者の表彰がありました。守谷町議会議員の中でも、久保宮清、倉持和夫、皆川鉄男の三氏が議員在職十五年以上の長きにわたり、地方自治の振興発展に寄与されたことにより、表彰を受けました。その伝達式が七月六日、役場大会議室で行われ、守谷町、守谷町議会でもこの栄誉を称えらるることに、功績を賞揚し、表彰状を贈りました。

# あとがき

日に日に暑さが増し、水の恋しい季節になりました。七月二十二日、下妻に砂沼サンビーチがオープンしました。波のりビーチのほか七つのプールがあり、家族そろって楽しめます。夏バテ解消に水泳はいかがでしょうか。